

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年7月13日

**【四半期会計期間】** 第57期第1四半期(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

**【会社名】** 株式会社東天紅

**【英訳名】** T o t e n k o C o . , L t d .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小泉 和久

**【本店の所在の場所】** 東京都台東区池之端1丁目4番33号

**【電話番号】** (03)3828-6240

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 佐藤 昇

**【最寄りの連絡場所】** 東京都台東区池之端1丁目4番33号

**【電話番号】** (03)3828-6240

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 佐藤 昇

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第56期 第1四半期累計期間	第57期 第1四半期累計期間	第56期
	自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高 (千円)	1,414,691	1,835,094	6,578,140
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	124,973	137,079	164,560
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失 ( ) (千円)	191,784	132,260	398,841
資本金 (千円)	2,572,092	2,572,092	2,572,092
発行済株式総数 (株)	25,728,716	25,728,716	25,728,716
純資産額 (千円)	9,242,309	9,210,146	9,087,874
総資産額 (千円)	12,720,508	12,661,393	12,721,989
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額 ( ) (円)	7.46	5.15	15.52
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			
自己資本比率 (%)	72.7	72.7	71.4

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気低迷から緩やかな回復の兆しが見えたものの、依然として欧州を中心とした海外金融不安や原油価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のもとで、当社は、セールスの徹底による宴会売上の強化に努めてまいりました。

次に、「LUCIS(ルーキス)」「Coeur et Coeur(クーレクール)」「LA VIE CLAIR(ラヴィクレール)」などの婚礼や婚礼二次会のさらなる営業力強化を図ってまいりました。

さらに、改装店舗である「CHIBA SKY WINDOWS東天紅」、「新宿店」、「横浜桜木町ワシントンホテル店」、「名古屋店」、「姫路・山陽百貨店東天紅」の各店はおお客様にご好評をいただき、改装効果もあり、好調に推移いたしました。

そして平成24年3月、「JACK大宮店」の改修工事を実施し、集客力の強化を図りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比29.7%増の18億3,509万円、営業利益は1億4,336万円(前年同四半期は営業損失1億1,873万円)、経常利益は1億3,707万円(前年同四半期は経常損失1億2,497万円)、四半期純利益は1億3,226万円(前年同四半期は四半期純損失1億9,178万円)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べ6,059万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が四半期純利益の計上となったものの、借入金の返済及び土地の購入等により1億861万円減少したことなどにより流動資産が1億728万円減少、固定資産は土地の購入及び有形固定資産の償却並びに差入保証金の返還等により4,668万円増加したことなどによります。

負債は、前年度末に比べ1億8,286万円減少いたしました。

これは主に、借入金が返済により1億2,217万円減少したことなどによります。

純資産は、前年度末に比べ1億2,227万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益1億3,226万円を計上したことなどによります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 4 ) 研究開発活動

該当事項はありません。

( 5 ) 経営成績に重要な影響を与える要因及び今後の方針について

当第1四半期累計期間において、当社の経営者の問題認識と今後の方針に重要な変更及び新たに生じたものはありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,728,716	25,728,716	東京証券取引所市場 第一部	単元株式数1,000株
計	25,728,716	25,728,716		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

記載事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

記載事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

記載事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日		25,728,716		2,572,092		6,561,688

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないことから、直前の基準日(平成24年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 35,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,608,000	25,608	
単元未満株式	普通株式 85,716		
発行済株式総数	25,728,716		
総株主の議決権		25,608	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社東天紅	東京都台東区池之端1丁目4番33号	35,000		35,000	0.14
計		35,000		35,000	0.14

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の変動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.53%
売上高基準	2.73%
利益基準	2.99%
利益剰余金基準	2.96%

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	742,898	634,281
売掛金	254,233	268,685
商品及び製品	7,967	9,879
原材料及び貯蔵品	68,293	67,902
その他	113,027	98,385
貸倒引当金	300	300
流動資産合計	1,186,120	1,078,834
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,440,044	1,419,188
土地	7,897,327	8,000,415
その他(純額)	270,699	256,826
有形固定資産合計	9,608,071	9,676,430
無形固定資産	26,396	22,523
投資その他の資産		
差入保証金	1,706,889	1,701,687
投資有価証券	83,475	70,611
その他	111,636	111,907
貸倒引当金	600	600
投資その他の資産合計	1,901,401	1,883,605
固定資産合計	11,535,869	11,582,559
資産合計	12,721,989	12,661,393
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,667	157,680
短期借入金	1,257,875	1,061,300
リース債務	11,269	11,269
未払法人税等	34,680	12,000
賞与引当金	68,400	111,000
その他	447,312	388,360
流動負債合計	1,973,205	1,741,611
固定負債		
長期借入金	514,000	588,400
リース債務	35,259	32,441
繰延税金負債	3,046	170
再評価に係る繰延税金負債	351,284	351,284
退職給付引当金	489,301	481,944
資産除去債務	40,200	40,200
長期未払金	152,818	140,194
その他	75,000	75,000
固定負債合計	1,660,909	1,709,636
負債合計	3,634,115	3,451,247



(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	713,451	845,712
自己株式	8,429	8,429
株主資本合計	9,838,802	9,971,063
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,477	4,511
土地再評価差額金	756,405	756,405
評価・換算差額等合計	750,927	760,916
純資産合計	9,087,874	9,210,146
負債純資産合計	12,721,989	12,661,393

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	1,414,691	1,835,094
売上原価	696,045	811,075
売上総利益	718,645	1,024,018
販売費及び一般管理費	837,385	880,657
営業利益又は営業損失( )	118,739	143,361
営業外収益		
受取利息	0	0
未回収商品券受入益	482	410
受取保険料	1,017	1,151
その他	1,740	1,418
営業外収益合計	3,240	2,980
営業外費用		
支払利息	9,021	8,808
その他	453	455
営業外費用合計	9,474	9,263
経常利益又は経常損失( )	124,973	137,079
特別損失		
固定資産除却損	640	1,785
店舗閉鎖損失	416	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,200	-
災害による損失	22,839	-
特別損失合計	64,096	1,785
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	189,069	135,293
法人税、住民税及び事業税	2,715	3,033
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	2,715	3,033
四半期純利益又は四半期純損失( )	191,784	132,260

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
減価償却費	62,448千円	45,004千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月26日 定時株主総会	普通株式	51,386	2.00	平成23年2月28日	平成23年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は純損失金額( )	7.46円	5.15円
(算定上の基礎)		
四半期損益計算書上の四半期純利益又は 四半期純損失( )(千円)	191,784	132,260
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失( )(千円)	191,784	132,260
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,693	25,692

なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月12日

株式会社東天紅  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 笛木 忠男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中山 毅章 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東天紅の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの第57期事業年度の第1四半期会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東天紅の平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績の状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。